

高校生以下なら
どなたでも参加できます
(中学生も可)

化学グランプリの
問題は、
分からなくても
楽しくて
解きたくなる。

化学が好きな
高校生が
これだけいることを
知って、
嬉しかった。

いま高校3年生で、
最後の
化学グランプリに
なってしまうのが、
残念で寂しい。

150分フルに
使っても
足りないくらい
充実していました。
すごく考えさせられる
問題でした。

過去に受けた
色々な試験の中で、
最も集中して
取り組み、
楽しかったです。

全国高校化学グランプリ

High School Chemistry Grand Prix

[<http://gp.csj.jp/>]

主催：「夢・化学-21」委員会、日本化学会化学教育協議会

後援：文部科学省、経済産業省

特別協賛：独立行政法人科学技術振興機構 (JST)



「全国高校化学グランプリ」は文部科学省「学びんびく」認定行事です。
JST科学技術コンテスト支援事業です。



※名義は2008年度のものです。



全国高校化学グランプリ

全国規模で行う化学の実力を競いあうコンテストです。
高校生以下ならどなたでも参加できます(中学生も可)。
一次選考(筆記)を7月の「海の日」に一齐実施します。
成績優秀者が二次選考(実験)に進出します。
二次選考は1泊2日の合宿形式です。



- 参加申込** 2009年5月18日(月)~6月19日(金)
ホームページからエントリーできます。
または、募集要項にある参加申込書に必要事項を記入して郵送してください。
- 一次選考** 2009年7月20日(月・祝) 海の日
筆記試験(150分間)。全国50箇所(予定)で一齐実施。
- 二次選考** 2009年8月22日(土)~23日(日)(1泊2日)
実験試験(240分間)。2009年は京都大学(京都府)が会場です。
一次選考での成績上位者が対象です。
参加者には実験用白衣と安全メガネを提供します。
会場までの往復旅費、期間中の宿泊・食事は主催者が負担します。
- 表彰** 二次選考進出者全員が対象です。
大賞(グランプリ)—— 賞状、副賞(ノートパソコン)
金賞、銀賞、銅賞—— 賞状、副賞(図書カードそれぞれ
1万円、5,000円、3,000円分)
- 表彰式** 2009年9月26日(土)
大賞、金賞受賞者をご招待します。

国際化学オリンピック代表候補の選出について

「全国高校化学グランプリ2009」に参加した中学3年生、高校1、2年生の中から20名程度が2010年の「国際化学オリンピック日本大会」代表候補に推薦されます。オリンピック代表候補には認定証と学習用参考書が贈呈されます。

第42回国際化学オリンピック日本大会

42nd International Chemistry Olympiad

開催国・都市 日本・東京
開催日時 2010年7月19日(月)~28日(水)
試験会場 早稲田大学大久保キャンパス(実験試験)
東京大学駒場キャンパス(筆記試験)
参加国数 約70か国
参加者数 約500名(生徒280名、引率者220名)



とは



「全国高校化学グランプリ」では
**どんなことを
するの**



一次選考ではどんな問題が出るの?

一次選考は筆記試験です。基礎化学、無機化学、有機化学、物理化学の分野から各1題出題します。計4題を150分間で解答します。

問題は難しい?

高校の教科書では扱わない内容もあります。見たことないような化学式や構造式が出てきて、びっくりするかもしれません。でも、諦めずにじっくりと取り組んでみてください。いつもの学校の試験を解くのととは違った「化学」が体験できるはずです。

全然わからなかったらどうしよう

問題に取り組んだあと、皆さんに「化学の知識がこういうところに活かされているのか」とか、「教科書にあるような基礎的な事柄がこんなふうに応用されているのか」といった発見や感想をもってもらえたら、というのが、出題するひとたちのねらいです。単に得点を競い合うだけではなくて、参加した皆さんにこれまで知らなかった化学の一面を知ってもらえればと思います。

二次選考ではどんなことをするの?

二次選考は240分(4時間)の実験試験です。まず、参加者は白衣と安全メガネをもらいます。その後、実験についての注意事項を聞きます。そしていよいよ、実験開始です。どんな手順で実験を進めればよいか、計画を練ります。そして、実際に操作をして、データを取り、レポートにまとめて、提出します。と、書いてしまえば簡単そうですが、計画どおりに進まないことがほとんどです。多くの参加者は、クーラーのきいた実験室の中でも汗だくになって取り組んでいます。

実験はやったことがないから心配

「実験問題なんてとても手に負えないのでは」なんて心配はいりません。実験器具に馴染みがない参加者がほとんどです。高校生の皆さんでも操作できるように丁寧な解説がついていますから、安心してください。